

# LANEX<sup>®</sup> - AP0200

爆発性ガス雰囲気のある危険場所(防爆エリア)で、安全・安心に使用可能な無線LANアクセスポイント

防爆型無線LANシステムは、ガス、石油化学、化学薬品工場等に存在する防爆エリアへの適用/設置が可能な無線LANシステムです。防爆型のPDAやIPカメラと組み合わせれば、設備運転データや映像の監視も行う事ができます。さらに、防爆型IP携帯電話との組み合わせにより防爆エリアにて通話が可能となります。指向性/無指向性のアクセスポイントを使い分ける事により、様々なエリア形状に対して最適(ミニマムコスト)なシステムの構築が可能です。



適用が想定される各種プラントエリア

## <主な特徴>

各種等級	防爆等級: Exd II + H2BT4 保護等級: IP54相当
無線LAN	IEEE802.11g/b に準拠 (2.4GHz帯)
セキュリティ	各種セキュリティ機能(WPA2-PSK、WPA-PSK、MACフィルタリング等)をサポート
主な特徴	水素防爆エリア、又は粉塵防爆エリアにも対応可能 POE給電が可能 タグVLAN(仮想的なネットワークグループ)の設定可 アクセスポイントからの送信出力可変(3段階)対応可能 アクセスポイント間での無線通信接続が可能
通信距離 <sup>注1</sup>	屋外: 約250m(但し、IP携帯電話による通話の場合は約200m)

注1: 無線通信距離は、アクセスポイントが設置される環境により異なります。(詳細は現地調査実施要)

屋外設置例(サンシェード無)



屋外設置例(サンシェード有)



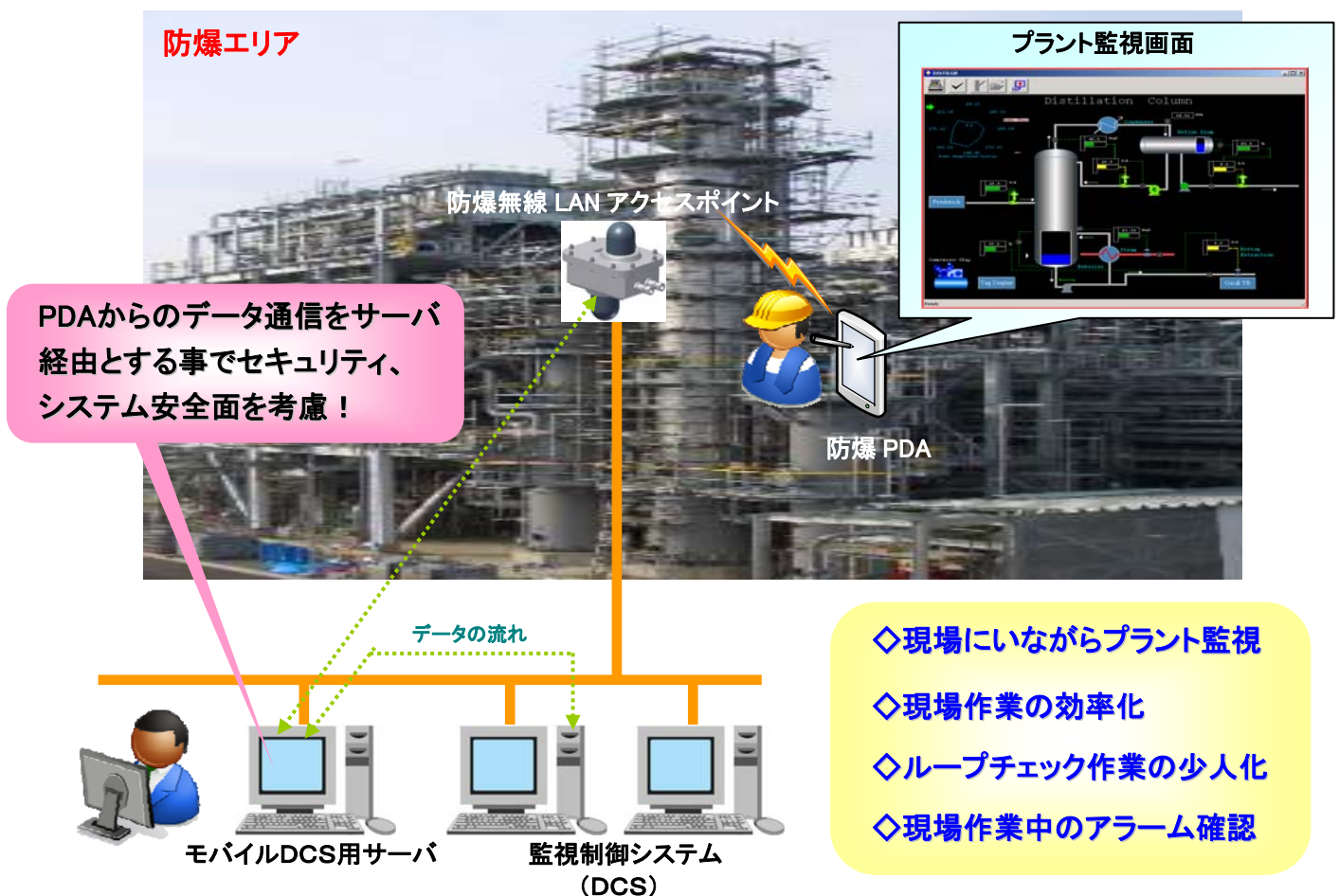
## <LANEX<sup>®</sup>-APO200基本仕様>

種別	項目	仕様 <sup>注1</sup>
一般	外形寸法	本体：300mm(W)×210mm(H)×335mm(D) アンテナ部：90φ×96
	重量	約13kg(サンシェード無)、約16kg(サンシェード有)
	防爆等級/検定番号	Exd IIB+H2T4(1種/2種危険場所)/検定合格番号 TC18889号
	保護等級	IP54相当
	使用温度(湿度範囲)	-20℃~40℃ (湿度:~90%RH結露無きこと)
無線LAN部	サポート規格	IEEE802.11g/b
	伝送方式	802.11g：直交周波数分割多重方式(OFDM) 802.11b：直接スペクトラム拡散方式(DSSS)
	使用周波数範囲	2.4GHz帯(全13ch)
	通信速度	802.11g：最大54Mbps(理論値) 802.11b：最大11Mbps(理論値)
	セキュリティ	WPA2、WPA、WPA2-PSK、WPA-PSK <AES/TKIPから選択>、OCB AES(128Bit)、IEEE802.1X認証、WEP(64/128/152bit) MACアドレスフィルタリング、ANY接続拒否(SSID名隠蔽)機能対応
	送信出力	10mW/MHz以下
	通信距離 <sup>注2</sup>	屋外:約250m
	インターフェース	RJ-45型×1
有線LAN部	サポート規格	IEEE802.3/IEEE802.3u(10BASE-T/100BASE-TX)準拠 IEEE802.3af 準拠(PoE仕様)
	インターフェース	RJ-45型×1

注1:予告なく仕様に変更される可能性があります。

注2:無線通信距離は、アクセスポイントが設置される環境により異なります。

### <<データ通信ソリューション例 モバイルDCS>>



JFE エンジニアリング 株式会社 <総販売元>

鶴見事業所(横浜本社)

〒230-8611 横浜市鶴見区末広町二丁目1番地

電力・資源プラント事業部 営業部

電話番号:045-505-7382

FAX番号:045-505-7827